

Life Design Focus

親世代でみる「ゆとり世代」と「脱ゆとり世代」

第一生命経済研究所 ライフデザイン研究本部 研究開発室 宮木 由貴子

<ゆとり世代とは>

ゆとり世代とは、いわゆる「ゆとり教育」を受けた世代とされ、1987年生まれ（現在23歳）以降の世代をさしている。知識重視型の詰め込み教育が見直され、授業数の削減や、生きる力、ゆとりある教育を目的とした学習指導要領改訂（2002年度～）を体験した世代である。消費ターゲットのセグメントとしては、現在16歳である1994年生まれあたりまでととらえてよいだろう。この世代は、「ゆとり」「ゆとりちゃん」「おゆとり様」など、ともすれば揶揄的な表現（特にネット上）で語られることが多く、いつの時代もネガティブに語られることの多い「いまどきの若者」論に拍車をかけている。ちなみに、2008年に新学習指導要領案が告示され、今年の4月から小学校において授業時間の増加などが盛り込まれた新学習指導要領に基づくカリキュラム改正が行われる（ただし2009年4月から移行措置がとられている）。本格的な「脱ゆとり教育」の始まりである。本稿では、ゆとり世代の良し悪しではなく、彼らの成育時代と消費の傾向について振り返ってみたい。

<ゆとり世代の親世代>

消費に関する価値観形成には、親の影響をメインとする生い立ちが大きくかかわってくる。そもそも、ゆとり世代はどのような価値観の親の元に育ってきたのだろうか。

ゆとり世代の親世代として想定される世代はバブル世代より以前の世代である（図表1）。この頃は、結婚年齢が「クリスマスケーキ：24歳までが売り時、25歳がピーク、26歳を過ぎると売れない」とされた時代から、「大晦日：31歳までには結婚したい」とされた意識変化が起こった時代と重なる。この世代の人たちが20歳前後にあたる時期のテレビドラマを分析すると、いわゆる「トレンドィドラマ」の走りともいえるドラマが多く、仕事（女性の仕事としてはOLが花形）も恋・結婚もしたいといった女性の意識が反映されているものが多い（文末の参考資料参照）。従来型の専業主婦志向とキャリア志向が交錯し、女性の選択肢が増加した時期である。この頃から女性の生き方やライフコースの多様化が世間に認められてきたことがわかる。

また、この時代は就職先も収入も多く、華やかなOLの定番スタイルとして、大き目の肩パットの入ったジャケットに太い眉毛・真っ赤な口紅といった化粧スタイル、派

手なアクセサリにブランドバッグ、ヘアスタイルはワンレングス、アフター5はボディコンシャス（いわゆる「ボディコン」）な衣装でディスコのお立ち台、といったスタイルがパターン化される（いわゆる「バブルファッション」）など、消費においては自分のスタイルというよりは「トレンド」「ブランド」「定番」が重視される時代だった。その後、バブルは崩壊し、日本は不況に突入し、文字通り華やかなOLライフは泡と消えた。つまり、大きな社会経済変化を目の当たりにした世代を親に持つのが「ゆとり世代」なのである。

<ゆとり世代は「冷静」「堅実」「守り」>

そうした世代を親に持つゆとり世代は、どのように育ったのだろうか。現在、もっとも年上のゆとり世代は24歳であり、社会人になりたてという人も少なくない。世間でのゆとり世代の評価はどのようなものなのかについて、産業能率大学の「2009年度新入社員にみるゆとり世代の特徴」をみる。それによれば、ゆとり世代の特徴として『指示待ち』でミスが怖い「就職先は企業風土より、所在地、給与、企業規模を優先」「自分自身を伸ばしたい」「キャリアは不明瞭だが専門職志向が高いなど冷静で現実的な仕事観がある」といった点があげられている（図表省略）。また、今日の20代については、様々なデータから堅実、地味、安定志向などの傾向があるといわれる。内閣府の調査等では専業主婦願望が強い点も指摘されている。

攻めていくタイプではなく、堅実なタイプが多いといってよいかもしれない。

<ゆとり世代の消費スタイル>

バブル崩壊を目の当たりにした親の元で育ち、「就職難」「リストラ」を耳にしてきたゆとり世代。彼らは、親がバブル時に購入した高額商品がいわゆる「一生モノ」ではなく、ただの「流行りモノ」に過ぎず、今となっては使えないものであることを知っている。一方で、エコロジーやリサイクル、環境問題といった点が教育課程に積極的に組み込まれた世代でもある。

そんな彼らが消費のスタイルにおいて、無駄を省き、流行に左右されず、自分の心地よいものを選ぶという形をとるのは至極当然ともいえよう。ゆとり世代のキーワードは「コスパ（＝コストパフォーマンス）」であるという。彼らは消費を含め、無駄や損を嫌い、対面やプライドよりも実質性を重視する。「名を捨て実をとる」タイプである。よって、ステイタスシンボルとしての消費やトレンド・流行といったものだけでは動かない。自分にとってそれがどう「良い」かに力点を置いて物事を選択する。だから、自分がいいと思えばステテコも腹巻も使い、エコだし経済的だからゆたんぽを使う。男子でもスカートをはく。自家用車を持っていないとモテないという価値観もなく、「みんなが持っているから」という理由でブランド品を買うこともしない。自分自身が心地よく、コストパフォーマンス的に納得していることが重要なのである。

図表1 世代名と想定される親世代(イメージ)

生年	年齢	世代名	就職時 (20年スライト)	時代背景	想定親年齢1 (+25年)	想定親年齢2 (+30年)
1947年	64	団塊世代 (第1次 ベビーブーム世代)				
1948年	63					
1949年	62					
1950年	61	ポスト団塊世代		朝鮮特需		
1951年	60					
1952年	59					
1953年	58					
1954年	57					
1955年	56					
1956年	55	神武景気				
1957年	54					
1958年	53					
1959年	52	岩戸景気				
1960年	51					
1961年	50					
1962年	49	高度成長期				
1963年	48					
1964年	47					
1965年	46					
1966年	45					
1967年	44					
1968年	43	いざなぎ景気				
1969年	42					
1970年	41					
1971年	40	団塊ジュニア世代 (第2次 ベビーブーム世代)			団塊世代	
1972年	39					
1973年	38					
1974年	37					
1975年	36	ポスト団塊ジュニア (団塊世代の 子世代)		安定成長期	ポスト団塊世代	団塊世代
1976年	35					
1977年	34					
1978年	33					
1979年	32					
1980年	31					
1981年	30	就職氷河期世代				
1982年	29					
1983年	28					
1984年	27	ゆとり世代				
1985年	26					
1986年	25					
1987年	24					
1988年	23					
1989年	22					
1990年	21	バブル景気				
1991年	20					
1992年	19					
1993年	18					
1994年	17					
				バブル崩壊	バブル世代	

注： 世代名称に厳密な定義がないもの、もしくは定義が複数あるものがある
 想定親年齢1は親が25歳時、2は30歳時に出産をしたという設定で該当する世代を明記

資料：各種資料を元に筆者作成。

＜ゆとり世代の次に来るのは団塊ジュニアの子どもたち＞

こうしたスタイルを持つゆとり世代では「大ブーム」「一世風靡」は起こりにくい。携帯電話やインターネットを当たり前として育ち、右肩上がりの経済成長は期待できず、終身雇用制度を望むものの会社自体が未来永劫あるとは信じていない、それがゆとり世代の見ている社会なのである。

ゆとり世代の次に来るのは、団塊ジュニアの子どもたち、すなわち脱ゆとり世代となる。脱ゆとり世代の親世代にあたる団塊ジュニア世代は、高度成長期の右肩上がりの日本経済の中で幼少期を過ごし、社会に出る直前ないし直後にバブル崩壊を体験した。バブル崩壊により事態が一変し、高卒ないし短大卒で就職した層ではバブルを数年体験することになるが、大卒の団塊ジュニアは、就職時に既に氷河期に突入している。ベビーブーマーでもある団塊ジュニアは、受験や就職などにおいてきわめて競争の激しい中で育ち、やっとの思いでゴール（就職）したかと思いきや、目の前でバブルが崩壊した。ベビーブームがゆえに母数が多いので、ライバルが多く競争続きだったことに加え、不況により席数がさらに減るといふ事態が生じ、団塊ジュニア世代の競争はますます激化した。

こうした体験をした団塊ジュニア世代が自分の子どもたちに抱く思いは何だろうか。競争慣れしてきた団塊ジュニア世代は、横並び意識とともに、常に一步抜き出たいと思う意識も強く、周囲と自分が違うという点を不安に感じやすい。そんな彼らが今、巻き込まれているのが、教育市場である。少子化に伴う子どもの減少により、学習塾などは困り込みに躍起である。競争意識に煽られた親たちは、自分たちの子どもをどんな不況でも勝ち組に入れるべく、自分たちがされてきた以上に教育消費を惜しまない。塾通い開始の年齢も低年齢化の一途をたどっている。

結果として、脱ゆとり教育で学校での負担が増える子どもたちが、放課後も学習に時間をとられることとなる。今後の子どもたちは学校でも学校外でも今まで以上に疲弊していく可能性がある。また、親の経済状況が塾通い等への教育投資の差を生じさせる。こうした競争の激化についていく者、取り残されていく者、競争に入れない者など、教育格差もこれまで以上に拡大していくだろう。

いつの時代も苦々しく語られることが多い「いまどきの若者」。若者の時期が延びて若者の親もまた若者気分であることも多い。いくつまでを若者と呼ぶのかもあいまいである。これに加えて、ライフスタイルの多様化により、親になる年齢（＝第一子を持つ年齢）も、10代から40・50代と、以前より一層幅が広がっている。

消費の分析にあたって、セグメントは難しくなる一方である。

（みやきゆきこ 副主任研究員）

参考資料:各世代が20歳の時に放映されていたテレビドラマ

1947年	団塊世代	白い巨塔、コメットさん(67年)
1948年		37階の男、男はつらいよ(68年)
1949年		プロファイター、プレイガール、ケンちゃんシリーズ(69年)
1950年	団塊世代	江戸川乱歩シリーズ明智小五郎(70年)
1951年		気になる嫁さん、刑事くん(71年)
1952年		太陽にほえろ、アイちゃんが行く!(72年)
1953年	ポスト 団塊世代	GO!GOスカイヤー、雑居時代(73年)
1954年		傷だらけの天使、寺内貫太郎一家(74年)
1955年		Gメン75、はぐれ刑事、俺たちの旅(75年)
1956年	団塊世代	いろはの"い"、俺たちの朝(76年)
1957年		怪人二十面相、特捜最前線(77年)
1958年		大空港、大都会 PARTⅢ(78年)
1959年	団塊世代	3年B組金八先生、西部警察(79年)
1960年		赤かぶ刑事奮戦記シリーズ、特命刑事(80年)
1961年		北の国から、ブラックジャック(81年)
1962年	団塊世代	メチャン子・ミッキー、笑顔泣き顔ふくれ顔(82年)
1963年		おしん、金曜日の妻たちへ、スチュワーデス物語、ふぞろいの林檎たち(83年)
1964年		オレゴンから愛、スクール☆ウォーズ、不良少女とよばれて(84年)
1965年	バブル世代	禁じられたマリコ、ポニーテールはふり向かない、ヤヌスの鏡(85年)
1966年		危ない刑事、男女七人夏物語、痛快!OL通(86年)
1967年		ママはアイドル、パパはニュースキャスター、男女七人秋物語(87年)
1968年	バブル世代	君の瞳をタイホする、教師びんびん物語、ニューヨーク恋物語(88年)
1969年		君の瞳に恋してる、白鳥麗子でございます、同・級・生(89年)
1970年		いつか誰かと朝帰りッ、キモチいい恋したい、渡る世間は鬼ばかり(90年)
1971年	団塊ジュニア世代	ヴァンサンカン・結婚、結婚したい男たち、結婚しないかもしれない症候群、東京ラブストーリー、101回目のプロポーズ、もう誰も愛さない(91年)
1972年		愛という名のもとに、素顔のままで、デパート!秋物語、二十歳の約束、ずっとあなたが好きだった(92年)
1973年		あすなる白書、嘘つきは夫婦のはじまり、課長島耕作、高校教師、誰にも言えない、ひとつ屋根の下、ポケベルが鳴らなくて(93年)
1974年	団塊ジュニア世代	家なき子、妹よ、お金がない、出会った頃の君でいて、29歳のクリスマス、古畑任三郎、若者のすべて、私の運命(94年)
1975年		愛していると言ってくれ、王様のレストラン、恋人よ、最高の片思い、星の金貨、未成年(95年)
1976年		イグアナの娘、age35恋しくて、Dear ウーマン、ピュア、ロングバケーション(96年)
1977年	ポスト 団塊ジュニア世代	青い鳥、いいひと。、踊る大捜査線、家政婦は見た、ガラスの仮面、君の手がささやいている、失楽園、ストーカー・誘う女、ビーチボーイズ(97年)
1978年		甘い結婚、神様もう少しだけ、きらきらひかる、GTO、ショムニ、じんべえ、チェンジ、ハッピーマニア、めぐり逢い(98年)
1979年		救命病棟 24時、ケイゾク、大好き!五つ子、ベストフレンド、魔女の条件(99年)
1980年	団塊ジュニア世代	ビューティフルライフ、永遠の仔、トリック、オヤジい。(2000年)
1981年		カバチタレ、HERO、ムコ殿、アンティーク〜西洋骨董洋菓子店〜(01年)
1982年		木更津キャッツアイ、恋ノチカラ、ロングラブレター〜漂流教室〜、ごくせん(02年)
1983年	団塊ジュニア世代	GOODLUCK!!!、僕の生きる道、君はペット、WATERBOYS、Dr.コトー診療所(03年)
1984年		アットホーム・ダッド、離婚弁護士、黒革の手帳、ラストクリスマス(04年)
1985年		anego、エンジン、女王の教室、電車男、ドラゴン桜、女系家族、海猿、花より男子(05年)
1986年	団塊ジュニア世代	アンフェア、けものみち、医龍、クロサギ、プスの瞳に恋してる、結婚できない男、嫌われ松子の一生、のだめカンタービレ(06年)
1987年		華麗なる一族、ハケンの品格、セクシーボイスアンドロボ、花ざかりの君たちへ〜イケメン♂パラダイス〜(07年)
1988年		斉藤さん、ハチミツとクローバー、鹿男あをによし、ラスト・フレンズ、交渉人〜THE NEGOTIATOR〜、Around40〜注文の多い女たち〜(08年)
1989年	ゆとり世代	ヴォイス〜声なき者の声〜、白い春、BOSS、任侠ヘルパー、官僚たちの夏、オトメン(乙男)、不毛地帯、おひとりさま、JIN-仁-(09年)
1990年		月の恋人〜MoonLovers〜、mother、同窓会〜ラブ・アゲイン症候群、GOLD、フリーター家を買収、龍馬伝(10年)

資料:各種資料を元に筆者作成